

## 寄稿 小笠原への山歩きツアー

たかなわ会ワンダーフォーゲルOB会  
代表 小西 由文

2015年1月に5泊6日で東京都小笠原村に、本格的な山歩きのツアーに行ってきました。三年前から計画を温めていましたが、歩けるうちに行かなければと今回一人で参加したという訳です。

初日は朝10時に竹芝桟橋を出発し、富士山や房総半島を眺めながら太平洋に出て、翌日のお昼前に父島に到着。さらに母島へ移動して剣先山展望台まで足慣らしのトレッキングをしました。3日目は早朝から乳房山に登頂。午後にはザトウ鯨ウォッチングを楽しみながら父島に戻り、中央山の展望台に立ち寄ったほか、扇浦海岸で珊瑚化石や珊瑚原石を拾うなどして過ごしました。

4日目は本格的な山歩きです。躑躅山山麓から衝立山へと歩き、千尋岩(ハートロック)で海を見ながらお弁当に。八ツ瀬川沿いに下山してナイトツアーにも参加し、天の川など満天の星空を見て、宇宙の広さを痛感しました。

5日目は団体から離れ、一人で趣味の石拾いを兼ねて車で個人ツアーへ。釣浜海岸では日本でここしか採取出来ない無人岩(斜長石を含まない、主に古銅輝石や単斜エラストタイトの鉱物)を探し、大きな珊瑚化石やシャコ貝の殻も拾いました。

海洋センターでは青海亀の飼育施設を見学し、昼食は

母島にて(後方は乳房山の尾根)



ここでしか食べられない青海亀の刺身(牛刺の食感)、亀の卵(煮つけ)、亀の煮込み定食でカンバイ。午後2時には港を出発して東京への帰途についたという訳です。

東洋のガラパゴスとも呼ばれる小笠原諸島は、火山噴火で4千万年前に出来た島々であり、大陸と一度も繋がっていません。小笠原に生息、生育する数多くの固有種は、独自の進化を遂げてきたもので保護が必要です。山に入るには現地ガイドの案内が必要で、出入口では靴底を洗って、酸性のスプレーをしてから登山するように管理されていました。

忘れていけないのは、先の大戦で島民は本土へ強制疎開させられ、小笠原は軍事基地となったということです。今も戦争遺産として沈船、通信基地、発電所跡や砲台の残骸などがあり、悲惨な歴史の爪跡が残っていました。現在の日本は平和ボケしているといわれますが、それを感謝して良いのか、考えさせられる思いでした。

## 第3回高輪カミングデー

たかなわ会では2015年も、11月1日から3日まで建学祭期間中の高輪校舎にて、卒業生の集う場・第3回高輪カミングデーを開催しました。

前回は150名もの卒業生、先生方にお集まりいただいた本会ですが、今回も大いに盛り上げようと、3日の午後は「第1回高輪キャンパスおもてなしフェア」として、学生や地域の皆さんと御神輿巡業に参加したほか、サントリー様に協賛をいただいて「ビール祭り」を行いました。御神輿を担いだ後のビールは格別でした。



## 松前仰杯争奪ボウリング大会

第17回松前仰杯争奪ボウリング大会を2月6日に品川プリンスホテルボウリングセンターで開催し、学生や先生方と和気藹々な親睦を深めました。

たかなわ会の会員をはじめ、情報通信学部、学生や教員ら19名が参加。人数が奇数のため、残念ながら団体戦の情報通信学部部長杯は見送り、個人戦の松前仰杯のみの開催となりました。

大会は2ゲームの合計点で競うもの。年齢や性別のハンデキャップはありません。ギャラリイも見守る中、第1ゲーム終了の時点で、体力で勝つと思われた学生を引き離し、たかなわ会員がリード。しかし第2ゲームでは学生も奮起して、272点をあげた川原浩生さん(経営シ



## 高輪バレーボール部OB会

情報通信学部になってからも短大時代からのバレー部の活動は引き継がれ、関東学生バレーボール大会や夏の合宿は、学部生の学生生活における年間行事として高輪バレー部にその歴史をとどめています。

そして、たかなわ会の主催する建学祭における、高輪カミングデーにて再会を果たす場を与えていただいて、感謝するところであります。高輪バレー部のOB・OGの皆様、是非一度、どのような形でもよろしいですから、新しく生まれ変わった高輪校舎を訪れるよう、お願い申し上げます。(13期生・広田一郎)



## 高輪スノースポーツ部OB会

まず、2015年8月1日に開催された江戸川花火大会に、地元の小幡守氏幹事を筆頭に、4期・5期・8期・13期が集いました。西脇先生を囲んで学生時代の思い出話で大いに盛り上がりしました。

また、11月1日に高輪校舎にて行われた、高輪カミングデーに20名のスノースポーツ(旧スキー)部のOB・OGが集まりました。卒業して30数年が経ちましたが、懐かしい人達と顔を合わせると、過ぎた時間を感じることなく、話に花がさきました。

私達の学生の頃は、大半が男性部員で女性部員は数える程しかおりませんでした。その中で合宿・スキー教室・スキー大会など、今考えると信じられない様な貴重で楽しい体験が沢山出来ました。先生、先輩方に感謝いたします。有難うございました。

(9期生・渡辺真由美/旧姓・瀬戸)



## 会員短信

2015年の定時総会を案内した際に、返信ハガキにお書きいただいたメッセージです。

- ◆ 90歳になりましたが、今のところ元気に自動車まで走り回っています。(総会には、出席させていただきます。(東理代吉)
- ◆ いつもお世話になっております。生憎、時間がつきまぜず、欠席させていただきます。皆様によりよくお伝え下さい。(浅沼徳広)
- ◆ 坐骨神経痛を患い苦勞しています。(石幡敏臣)
- ◆ 毎回ご連絡下さいまして有難うございます。電話でご連絡しましたが、(総会)当日、講演依頼があり、この予定を変更できません。ご出席の皆様にお伝え下さい。(伊藤勝啓)
- ◆ 「夢積会」(相馬先生、松本先生)の会合に出ています。(今井幸雄)
- ◆ 都合により欠席いたします。ご盛会を祈ります。(奥田貞幸)
- ◆ 盛会をお祈り申し上げます。(尾崎弘)
- ◆ 年齢を重ねる度に多忙になりました。予定があり、出席できません。皆様のご健勝をお祈りいたします。(小柳七郎)
- ◆ 病氣入院中のため、欠席いたします。(小林昭)
- ◆ 事情により、夜間の外出がままならなくなりましたので、失礼します。(清水敏郎)
- ◆ 折角のお誘い申し訳ありませんが、通院中のため、失礼させていただきます。(白戸敬信)
- ◆ 長時間は未だ少し無理のようで欠席いたします。ご盛会を祈念しております。(相馬滋)
- ◆ 東海高等通信工学校通信本科昭和39年3月卒業。よろしく願っています。(関根進)
- ◆ 体力、気力が少なくなっています。(瀧澤四男彌)
- ◆ 残念ながら今回は欠席させていただきます。申し訳ございません。(坪内重夫)
- ◆ 元気に過ごしています。今回は多忙につき欠席させていただきます。申し訳ありません。次回は皆様にお会いできると思います。(富山薫順)
- ◆ スキー部の8期です。(長友泰史朗)
- ◆ 元気に過ごしています。卒業して50年余の歳月が流れました。初めて参加させていただきます。よろしく願っています。(中平敏夫)
- ◆ 何もせず、皆様に感謝するのみですが、未長く貴会のご発展を祈念いたします。(西谷暢寛)
- ◆ 当日、3泊4日でシンガポールへ旅行に出かけます。誠に残念ですが欠席いたします。ご盛会を期待しております。(野崎敬三郎)
- ◆ 今度一度学校に行ってみたいです。野尻雅直古里に帰り楽しく過ごしています。皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。(橋邊光明)
- ◆ 都合により欠席します。(原田芳郎)
- ◆ 腰痛のため欠席いたします。(見目宏)
- ◆ 今年米寿を迎えました。思い出巡りで歩き廻っています。興亜18二期(宮崎常男)
- ◆ お陰様で年齢相応の元気さで頑張っています。「高輪だより」を拝読する度に、在学時の懐かしい思い出が蘇り、感謝の気持ちでいっぱいです。母校のますますのご発展をいつも心より願っております。(森茂樹)
- ◆ ご盛会をお祈りします。(吉岡貞一)

たかなわ会事務局からのお願い  
返信ハガキなど住所変更ご連絡いただく際は、事務処理上必要ですので、必ず旧住所も記入下さいますようお願い申し上げます。



第3回カミングデーの様子 世代を超えてビールで乾杯